

ネクスト

8月11日 2008/創刊号

2008年8月11日

通建連合 東京都千代田区神田駿河台3-6 全電通労働会館3F
〒101-0062 TEL.03-3255-2835 FAX.03-3255-3003

全国情報・通信・設備建設労働組合連合会

発刊にあたり

本紙(ネクスト(NEKUST))の持つ意味は、これまでの通建(TSUKEN)の歴史を振り返りつつ、「次世代そして未来へ」という前向きな姿勢を旨とする組織で在り続ける、そんな思いを込めています。

30周年を来年に控え、組織強化に繋がることを期待しています。特別号を中心に発行し、将来的には中核労組とも連携しながら、この機関紙「ネクスト」の充実を図ってまいります。



「08～09年度中期運動方針」「予算」
そして専従二役および会計監査2名の新役員選出をし、
新たな運動をスタートさせた第30回定期全国大会。
(7/25、東京・サンロードプラザ新宿)

宮城議長あいさつ

30年の歴史を教訓に、さらに通建運動の強化を図る

【労働条件向上】

一時金を見れば一部において厳しさを実感せざるを得ない。絶対値が低いことは、組合員の我慢がずっと続いていることを物語っている。会社経営が良くなることを願ってさまざまな施策に協力をしてきていることに、経営側は応えなければならない時期にきている。

【安全労働】

交通事故・第三者巻き込み・事故情報が開示されないという、従来とは異質の事故も見られた。そのために通建連合の統一運動として、秋春闘で定期的に取り組んできたが、今も事故が続いている状況にある。再発防止だけではなく、事故が少ない状況・ない状況をいかに継続するかが、安全運動の本質であり、粘り強い継続した労使による運動の推進を要請しておきたい。

【土曜閉所運動】

WGを設置し専門的に議論を深めるとともに、幹事会においても白熱した議論が展開された。本課題について職場と理想の葛藤という大きな壁があり、それらを乗り越えるべく頑張っている

という状況にある。今後も紆余曲折が予想されるが、一つひとつステップを踏みながら問題点をクリアし、実施に向け歩み出すことも重要である。

【政治改革】

福田政権の支持率の低下が報じられており、解散・総選挙はそう遠くない時期に行われることは間違いない。私たちは民主党の躍進を図り政権交代を実現することによって、政策の転換を図る必要がある。

【結成30周年】

結成30周年を迎えるが、歴史の重みを痛感している。この間さまざまな問題もあり、その中には深刻なものもあった。しかし全員で力を合わせて、互いに尊重しあって一つにまとまる努力を続けてきた。私たちは先輩の偉業を、これからも引き継いでいかなければならない。



雇用と安全を守る 新たな展望へチャレンジ

通建連合は7月25日、東京都内で第30回定期全国大会を開いた。大会に代議員・来賓・傍聴者など160人が出席、「2008～2009年度中期運動方針」「予算」などを満場一致で決定するとともに、宮城議長をはじめとする新役員を選出。向こう2年間の運動に向けて、新たなスタートを切った。



2008、09年度中期運動方針(案)を提案する藤井事務局長

新たな展望を自らの手で切り拓こう!!

●2008～2009年度中期運動方針(要旨)

【雇用安定と事業構造改革】

新中期経営戦略の推進にもとづく組織体制の見直しおよび受・発注を含めた業務見直しを注視し、必要な対応を行っていくこととする。経営協議会等の場を通じ、①2010年以降の投資動向を踏まえた通信建設各社の事業展望を明らかにする②今後の故障修理業務への対応および次世代ネットワーク網構築に向けた人材の育成や新たな事業展開の見直し③通信建設各社の事業構造改革に向けた施策——などを明らかにする。なお、施策展開にあつ

ては、労働条件の見直しはもちろん、要員流動等も想定されることから、労使間の信頼関係の上に立って迅速な情報開示と説明責任を求めていくこととする。

【労働条件向上】

賃金については、組合員との対話にもとづく総意を結集し、きめ細かな取り組みを展開することとし、賃金制度が未整備な交渉単位は、早急

厳しい事業環境を踏まえ、雇用安定、安全労働を確立

に制度確立を求めていく。差別最賃については、見直し論議に積極的に参加するとともに、その論議経過を踏まえながら、労使論議を開始する。ワーク・ライフ・バランスについては、過重労働や恒常的な時間外労働等に対するチェック機能を果たし、ワーク・ライフ・バランスの実現に向け積極的に取り組むこととする。

【安全労働確立】
改めて自律安全推進体制について振り返り、その経過を踏まえながら労災事故の撲滅はもちろん、適切な情報開示ならびに法令遵守の徹底に向けて取り組みを強化する。また、労



通建連合は、第30回定期全国大会で、「将来展望を切り拓くため、雇用安定・安全労働確立等の諸課題に積極的に取り組み、通建運動の前進を期そう!!」をスローガンに掲げ、満場一致で決定した。

Open Up & New Vista

「第30回定期全国大会」

第1号議案「新規加盟組合の承認」

大明iユニオンの加盟を全会一致で承認!



新組合旗を披露する、松崎議長と那部事務局長

本年4月8日に結成された大明iユニオンの加盟が全会一致で承認された。大明iユニオンは株大明のグループ企業で働く労働者を対象とした「個人加盟ユニオン」である。今後は株大明の子会社を中心とした未組織労働者の受け皿として、組織拡大等の活動を行うこととしている。

【2008～2009年度中期運動方針質疑討論】

安全推進体制を再認識し、取り組みの強化を



発言するコムシス労組・森田代議員

Q.コムシス労組・森田代議員

事故発生から5日であり、整理が磐石とは言えないが、現時点でのコムシス労組としての考え方を述べたい。事故発生当日より通建連合本部と連携し、現場第一線への注意喚起を行うとともに、会社側には再発防止を要請してきた。今後は、安全確保が現場任せにならないよう徹底するとともに自律した安全推進体制への取り組みを推進し7年が経過しようとしている中で、今一度取り組みの基本を労使で再認識し取り組んでいきたい。

A.本部・藤井事務局長

本部としても、引き続きコムシス労組と連携を図りながら、情報の共有に努め、法して「対岸の火事」とすることのないよう取り組んでいきたい。また、過去の事故発生状況を分析すると、事故の被災者は経験の浅い作業員若しくはベテランと呼ばれる作業員に集中している。加えて事故の発生時間帯も作業開始直後か作業終了後に集中している。そうしたデータを踏まえた安全対策についても検討していきたい。

ワンポイント

2008
沖縄
ピース
すてーじ

嘉手納基地集会行動、数多くの戦跡から沖縄の実相を学ぶ

“命どう宝”を実感 今なお残る、沖縄戦の爪跡



組織拡大強化及び組織改革

通建連合の存在意義を高めることはもちろん、組織強化さらには安全労働確立の立場からも組織拡大の取り組みは重要であることから、通建連合本部と中核労組が連携し取り組みを強化していくこととし、具体的には、子会社を中心としたグループ会社の組織化に積極的に取り組むこととする。

政治改革

格差社会の是正と連合がめざす「持続可能な労働を中心とする福祉型社会の実現」に向け、第45回衆議院議員選挙では「田嶋 要君(千葉1区)」の必勝をはじめ情報労連推薦候補の必勝をめざす。

第3号議案「2008年度予算(案)」

活動を継承しつつ効率運営を確認！
第3号議案の2008年度予算(案)は、第2段組織改に基づき運動をスタートさせ、軌道に乗せてきこの2年間の運動を継承しつつ、より効率的な運に努めることを確認し決定された。また「通建連30周年記念行事」については第2号議案で決定し通りプロジェクトを設置して具体的な検討を行うこととしている。

来賓

情報労連中央本部・安永書記長、東京都協・立議長代行、建設連合・小川委員長、道建労協・場議長、日建協・澤田副議長、全電工労連・森副議長、長谷IG労組・久井委員長、UNI-Apro京事務所・小川副所長、電通共済生協・田邊常理事、香山課長、労連共済本部・東谷部長・木次長、きらら保険サービス・梁嶋部長、NTT・岩崎課長、組織内議員・田嶋要衆議院議員、藤正光参議院議員、吉川さおり参議院議員(このか、多くの労組からメッセージ・祝福をいただきました。ありがとうございました。)



基署の中、嘉手納基地周囲18キロを行進する参加者。(上)
解団式で協和・反田書記長の力強い固結ガンバロー。(下)



32℃の炎天下で「嘉手納基地周回行動」。午前9時から出発式を行い、約18キロの平和行進に出発した。行進では、「基地返還」「日米地位協定見直し」等を求めるシュプレヒコールと共に「街頭行動メッセージ」が読み上げられ、基地のない沖縄戦争のない世界平和の実現に向け、街頭の沖縄県民に力強く訴えてきた。通建連合からはシュプレヒコールに藤若さおりさん(大明労組)が参加し、通建連合からの参加者21名全員が完歩を果たした。

ワンポイント

【平和四行動とは】

情報労連は毎年6～9月を「平和運動強化期間」として、戦争や被爆体験を風化させないための具体的行動として「平和四行動」を展開している。四行動とは、「沖縄ピースすてーじ」「広島ピースフォーラム」「長崎平和フォーラム」「北方領土返還平和

情報労連の2008年平和四行動のスタートを切る「沖縄ピースすてーじ2008」は、6月21～23日に開催され、全国から約450人が結集した。通建連合からは21人が参加。

初日(21日)は、結団式に先立ち琉球新報社の「内間健友」氏から「教科書検定問題と『集団自決』について」をテーマに平和講演会が行われた。沖縄戦での集団自決における日本軍の関与と教科書での取扱い等について学習を行った。結団式ではまず、情報労連中央本部・森嶋委員長が「沖縄戦の悲惨さ及び

見て、二度と戦争を起さないためにも、次の世代に歴史を正しく伝えていく取り組みが必要である」と訴えた。また来賓の連合沖縄仲村会長は、連合沖縄は情報労連の皆さんと連帯して「平和」という共通の目標の達成に向け頑張りたい」と挨拶。「沖縄ピースすてーじ」がスタートした。

2日目(22日)は、気温

①20数万人の尊い命が失われた沖縄戦の実相
②占領地時代における沖縄の実情
③返還から現在に至るまで沖縄が抱える課題——等について問題意識を深めた。午後3時から「連合平和沖縄集会」に参加し、全国から結集した連合の仲間とともに、粘り強く平和運動の展開を誓いあつた。

行動」のこと。

6月23日の「沖縄ピースすてーじ」に続いて、8月4～9日は被爆地・広島および長崎で、「広島ピースフォーラム」「長崎平和フォーラム」がそれぞれ開かれる。また、9月には「北方領土返還平和行動」が北海道・視察で開催される。四行動には情報労連の各加盟組合から組合員や家族が参加し、集会や戦跡巡りなどが行われる。





モンゴル研修を終えて

組織改革・拡大が共通の課題 若い団が交流の大切さ実感

6月21日から3泊4日の旅程で通建連合海外交流が実施された。第6次となった今回の研修は宮城議長を団長に、各組織から8名が参加。女性2名を含む過去5回と比べ、かなり若いメンバー構成でUNI-LCモンゴルとの交流を展開してきた。この海外研修は、参加した団員一人一人が責任をもって行動を实践し、各人のスキルアップを行うことで通建連合における組織強化へと結びつけることをその目的としている。

モンゴルは大陸性の気候であり、我々の訪問する6月末から7月上旬が、年間を通じて最もいい季節といわれている。しかし研修中はなぜかほとんど雨の中での行動となった。遊牧民の国であるモンゴルでは「恵みの雨をもたらしてくれた旅人」として私たちは大いに歓迎された。そして開催された共同セミナーではUNI-LCMと通建連合それぞれの活動報告や意

2002年、全国通建時代に始まった組織独自の海外研修企画は、その2年前に当時の小樽委員長がUNI-LCJapanの「モンゴルプロジェクトセミナー」に団長として関わったことに始まる。途中2006年にモンゴル団を全国大会に招待。訪問は今回で6回目となる。



研修3日目のセミナー後、両国参加者全員による記念撮影。モンゴル側の希望により「組織拡大」を中心に熱い意見交換が交わされた。(6/23、ウランバートル)

2008.06.23 17:13

見交換などを行いお互いの理解を深めることができた。またセミナーの第2部では、日本から持参した「手作り携帯ストラップのマスクット人形作成」を実施した。我々訪問団1名に対しUNI-LCMのメンバーが4~5人という班にわかれ、言葉の不自由な中、身振り手振り最終手段のアイコンタクトまで駆使し、おおよそこれまで経験してきた労使交渉や職場オルグとは比較にならないほどの全身全霊を懸けてコミュニケーションを行った。思いや考えを伝えたい者と受けたい者が視線をあわせ、コミュニケーションの大切さが実感できたセミナーとなった。その後モンゴルテレコムとの職場見学を行い、夕食交流会でさらに友情を深めることができ、第6次モンゴル研修も無事、全旅程を終了することができた。

改めて事前準備の段階から多大なご協力をいただいたUNI-LCJapanの伊藤事務局長とUNI-Aproの小川副所長に感謝したい。

◆参加者名簿

本部・宮城議長、東電通労組本部書記長・長南博隆、本部・福岡副議長、トーシスG労組本部執行委員・義家敏幸、東京通建労組TTG支部副委員長・横田一、大明労組東京支部執行委員・藤野明日香、コミュニチュア労組関西支部NW分会役員・眞嶋洋介、センコムユニオン職場委員・眞鍋洋子

また国内で団員に対しバックアップをいただいた加盟各労組のみなさん、そして過去の諸先輩の絆づくりの結果、私たちを十年來の知己のごとく大変温かく迎え入れていただいたオイドフ議長をはじめとするUNI-LCMの皆様から感謝を申し上げます。

(文：福岡副議長)



情報労連



ULTRA GUARD
SAVE THE EARTH PROJECT

JOHO-ROREN 21st CENTURY DESIGN

この星のために ウルトラ警備隊員募集!

情報労連は、円谷プロとともに、この星の環境と平和を守るためにウルトラ警備隊として行動します。

情報労連ホームページ：<https://www.joho.or.jp/>

